

2022/09/01 校長室より

コロナ禍となり、3回目の夏も終わろうとしています。

現在の日本の感染状況はまだまだ収束の見通しは立たない状況です。全国の総感染者数の累計が1800万人を超えましたので、統計上、国民の約一割半の人が罹ったことになります。

第七波の株は、感染力が強く爆発的に感染者が増えています。特に、家族の誰かが感染すると、家庭内での複数感染は避けられない状況であり、いつ誰が感染してもおかしくない状況になっております。

現在学校では、クラスターなどは発生しておりませんので、感染対策を強化しながら、予定通りの教育活動を行うことができますが、ひとたび感染が確認されると蔓延することも想像されます。

学校・学級・学年閉鎖については、今年の春の段階では、学級に複数の感染者が確認された場合は、学級閉鎖の措置を取らなければなりませんでしたが、

8月19日付の文書（文科省）によると、

【同一の学級内において、複数の児童生徒等の感染が確認された場合であっても、その間で感染経路に関連がない場合やそのほか学級内の他の児童生徒等に感染が広がっているおそれがない場合は学級閉鎖を行わないことも考えられる】（一部抜粋）と示されています。

難しい判断を迫られておりますが、今後は町や保健所の指導のもとに柔軟な対応で、校内の感染対策を行って参ります。どうぞ、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

中間休みにグラウンドで鬼ごっこする3年生。  
子どもたちのそばには必ず水筒が置いてあります。  
「水筒・帽子・マスク」  
今の子どもたちの3点セットです。

昔は、マスクも水筒もそんなに  
必要じゃなかったのに……。

